

ご紹介

FINE TECHNO

バリ取り自動化

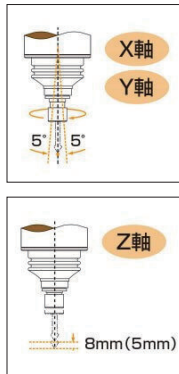
愛知県豊田市の「バリ取り自動化」に特化したシステムインテグレーター、ファインテクノをご紹介します。

これまでロボット化を進めるなかで一番難しいとされた、1ワーク中に存在するパーティングライン、厚肉部、湯口や堰などの同一加工を、独自のアタッチメントを開発することで、ワーク材質に合わせて自在にフロート力を調整できるため多彩な自動化が可能になりました。

ファインテクノでは、バリ取りホルダーやツールの開発・設計・製作・販売を軸にバリ取りの自動化に特化した事業を展開しています。迅速で質の高い熟練工レベルのバリ取り自動化技術でサイクルタイムを大幅短縮・コストも大幅に低減します。



デバリングの自動化に最適な
エアフロート式バリ取りアタッチメント



自社開発のエアフロート式 バリ取りアタッチメント

X軸Y軸方向の未測定部分を吸収
エアフロート部（モータスピンドル取付部）が軸心から最大5° 偏角し（傾ぎ）、偏角した状態でラジアル方向に360° 自在に可動します（マルチフロート機構）。

Z軸方向の未測定部分を吸収
エアフロート部が軸心（アキシアル）方向に8mm縮みます（アキシアルフロート機構）。
(AF20は5mm)

ファインテクノ独自のバリ取り理論

“バリ取り熟練工の技をバリ取りロボットセルに置き換える”をコンセプトにオリジナルのバリ取り理論に則り、バリ取りの自動化を行っています。

バリ取りトライサービス

お客様のワークをバリ取り可能か確認して動画と報告書でご回答します。簡易的なトライは無償で対応いたしますが、有償トライではサイクルタイム、最適な条件をご提案可能です。



バリ取りロボット標準セル「FDM-001」の販売開始

これまでお客様のワークに合わせた専用設計で対応していましたが、**小型セルの標準化を実現**しました。本機は6軸ロボット、アタッチメント、ターンテーブル、ライトカーテン、安全カバーを標準装備しており、**設計コストを大幅に削減**しています。オプションで2連式ATCマガジン、回転式治具テーブル（ロボット付加軸制御増設）も対応可能となっております。

WEB動画
配信中



<https://www.fine-techno.co.jp/finetechno/>